

学習用端末に係るトラブル事例とその対応策

1人に1台ずつ学習用端末が配られ、学校での授業や、子どもたちの家での学習の仕方も変化してきているのではないのでしょうか。しかし、子どもたちが端末の使い方を誤ると、さまざまなトラブルの原因につながるおそれがあるので注意が必要です。

トラブルと、その危険性

<p>①友だちになりすぎて、インターネット上のサービスを利用</p> 	<p>②撮影禁止場所で撮影した写真を投稿</p> 	<p>③個人に関する情報をSNSに投稿</p> 	<p>④あやしいメールやメッセージの開封</p> 
---	--	--	--

いじめやけんかなどに発展する可能性があります。また、他人のID・パスワードを使ってアクセスすると、犯罪行為となります。

投稿を見た人たちから、非難のコメントが集まる可能性があります。また、不適切な投稿は犯罪行為となる可能性があります。

個人を特定される可能性があります。また、個人情報を悪用されたり、つきまといなどの被害にあったりすることがあります。

端末がウイルスに感染したり、本人だけでなく、友人の個人情報等を盗まれたりする可能性があります。

<p>⑤災害時にインターネットに投稿されたデマを拡散</p> <p>□□の爆発により、○○地方で有害物質を含んだ雨が降ります！ #拡散希望</p> 	<p>⑥インターネットの長時間利用が習慣となる</p> 	<p>⑦インターネット上の著作物の無断使用</p> <p>この番組録画してSNSに投稿しよう♪</p> 
---	---	---

誤った情報が広まり、被災地の人たちが混乱してしまう可能性があります。

健康や成長に悪影響が及ぶほか、授業中に集中できず、成績が下がったりすることがあります。

他者の著作物を無断で使用すると、著作権の侵害となり、場合によっては処罰の対象となります。

トラブルを防ぐ対応策の例

- 他人にID・パスワードを教えさせない、他人のID・パスワードを絶対に使わせない
- 他者から推測されづらいパスワード(成長の段階に応じて、個人に関する情報を含まない・8文字以上の長さ・大小の英字と数字、記号を組み合わせる等)を設定させる
- インターネット上でのやり取りは、匿名性があるようにみえるが、個人の特定が可能であることを教える
- 個人が特定される画像や裸に近い写真をSNSに投稿することは、大変危険であることを教える
- ネット上で知り合った人は、知らない人と同じである(信用できない)ことを教える
- 学習用端末で使用するアカウントは、アプリやサービスの利用登録など私的利用をさせない
- インターネットには嘘や間違った情報がたくさんあることを教える
- インターネットやオンラインゲームには、依存性があることを教える
- オンラインゲームの課金は、保護者が管理する
- インターネット上に無許可で投稿された著作物を、それと知りながらダウンロードすることは違法であることを教える
- 家庭で子どもたちと話し合い、インターネット利用に関するルールを作成する(作りっぱなしにはせず、必要に応じて、適宜ルールの見直しを行う)

インターネットのトラブルに巻き込まれないための対策を、子どもと一緒に考えましょう。